

第 1 回 淀川河川公園 地域協議会 会議録

中流左岸域版（大阪府枚方市、寝屋川市及び守口市域）平成 25 年 9 月 10 日開催分

■開催概要

開催日時:平成 25 年 9 月 10 日(火) 13:00~16:30

場 所:中央流域センター

現地見学会

配布資料(一覧)

点野野草地区

■説明資料

議事次第

・資料-1 点野野草地区の特性、現状及び課題

1. 開 会

・資料-2 市民参加による植生管理活動の実施状況

2. 出席者紹介

(利用者代表)

3. これまでの経緯

■説明資料

・資料-3 住民参加型公園づくりのモデル地区の設定に

4. 議 事

ついて

(1)点野野草地区の変遷、現状及び課題について

・資料-4 「点野野草地区地区会議」の開催について(案)

(2)「みんなで育てる河川公園(仮称)」モデル地区の設定について

5. 今後の予定

■参考資料

6. 閉 会

・参考資料1 点野野草地区個票データ

・参考資料2 太間・点野野草地区公園整備計画

・参考資料3 淀川サポート制度

・参考資料4 過年度の地区会議結果のまとめ

・参考資料5 平成 24 年度第 2 回中流左岸域地域協議会

会議録

1. 点野野草地区の変遷、現状及び課題について

[学識者委員]

・(点野野草地区での住民参加活動は)定期的に実施されているのか。活動の頻度は毎月土・日曜全部か。

[利用者代表]

・点野砂州と呼んでいる場所で毎月1回活動を行っている。今年度はだいたい40~50人くらい集まる。それ以外にも年に数回イベントを実施している。
・点野小学校の4年生の総合学習としても利用している。

[学識者委員]

・ロンドンの湿地センターという湿地を再生したところでは、近所の小学校のカリキュラムとして利用され、NPOの専門家が子供に説明をしている。

[利用者代表]

・点野砂州の近所の摂南大学には生物関係のゼミも



あり、水生生物センターもあるので、連携することもできる。

[学識者委員]

- ・小学生のイベント的なものを年に1回、市民を入れたイベントを2回実施しているが、平常からこういってことができるかというのが難しいポイントである。
- ・忙しいということもあるが、非常に心配するのが安全管理で、点野ワンドは浅いが、その横は淀川の本川で水深が3メートルあり、はまると大変である。そのため子供だけではやり難く、イベント的に大人が見守っている中で参加してもらっている。その辺をどうしていくかが課題である。

[学識者委員]

- ・今後どうやってそういう枠組みをつくっていくかが大変大事な検討課題になる。

[行政]

- ・活動のPRとして、淀川の柵にポスターが貼ってあるが、それ以外に何か呼び掛けをしているか。自治体の広報など行政の絡みはないのか。

[利用者代表]

- ・広報は現時点ではしていない。いろいろな活動をやっていて手いっぱいな状況である。改善の余地はあると思う。
- ・安全管理の問題については、高水敷の切り下げをやって、人が水辺まで行けることになったら、途中で杭でも打って行けないようにするなどが考えられる。

[学識者委員]

- ・常に人の手が入るかどうかが点野砂州とワンドの質をかなり決めると思った。誰がどう手を入れていくのかが、今後あの場所をどうしていくのかに大きく関係する。
- ・人間が手を入れるのもあるが、川のほうで自然に水が手を入れてくれるというのもあり、どのように調整していくかが課題。

2. 「みんなで育てる河川公園（仮称）」モデル地区の設定について

[学識者委員]

- ・モデル地区というのは中流左岸域の中という意味か。右岸の三島江地区は地元の参加者が少ないため、右岸ではモデル地区を選ばないということか。

[事務局]

- ・ここで提案するモデル地区は管内全体で1箇所を提案している。河川公園全体で最初の地区という意味である。

3. 「点野野草地区地区会議」のあり方について

[学識者委員]

- ・この地域がモデル地区に選ばれたとしたら、大変光栄なことで、これからもぜひサポートしていきたい。
- ・地区会議というのは堅苦しい名前という感じがする。「ワークショップ」と言うほうが、みんなでがやがやと話し合う感じがして入りやすい。

[利用者代表]

- ・点野の地域の人たちにどこまで管理に関わってもらえるかも、今後の公園の育て方に関わってくる。自治体に話すのか寝屋川市を通じて話すのか、いろいろなやり方がある。下流側には仁和寺地区もあり、点野だけで終わってしまうわけでもないので、ボタンをかけ違えと固まってしまうことがある。
- ・別のワークショップでは行政から自治会に声を掛けてもらったが、公募という雰囲気ではない。その一方で、しっかりした組織がバックアップして関わるといことも大事な話なので、そこをどのように進めるか。

[学識者委員]

- ・地区会議なりワークショップなりの想定規模としては、一般に30人ぐらいがやりやすいと言われていて、1グループ10人として3グループで30人ぐらいが適当である。
- ・場所としては、中央流域センターは大きなスペースがあり交通の便もよいが、現場と離れているので少し難しい気がする。点野流域センターは非常に近くてよいが狭い。摂南大学を選んでもらっても構わない。平日の授業時間はやりにくいですが、休日でも夜でもできる。太間サービスセンターは使えるか。

[事務局]

- ・太間はそれほど広くないが、守口サービスセンターの1階は広いホールがあり、60人ぐらいのワークショップが可能だが点野には少し遠い。

[利用者代表]

- ・太間の公民館もある。

[学識者委員]

- ・子供たちがどれだけ川に近づけるかというのが大きな課題だと思う。学校関係というか、今はあまり熱心でなくても、将来関わってもらえそうな方、教育委員会などへのアプローチを行い、ただ公募するだけではなく積極的に働き掛けるというのもある。
- ・淀川の自然を、身をもって体験し、いろいろなことを勉強する野外フィールドがあるわけだから、有効利用してもらいたい。

[学識者委員]

- ・比較的近くに以前小学校であったのが廃校して現在は市民交流センターになっているところがある。そこには市民も来るし、小学生が放課後にたくさん毎日やってくる。自然体験教室というのがあり、理科の先生のOBの方などが指導されている。そこに働きかけると広がり期待できる。

[行政]

- ・魚を観察したり、川の水を取り込んで活動している小学校もある。

[行政]

- ・大阪府の石川河川公園では、富田林と羽曳野の間に自然ゾーンがあり、NPOの石川自然クラブが関わって連絡協議会を年に1, 2回やっている。
- ・NPOだけではやりにくいことも多いので、指定管理者とNPOが一緒にやっていったほうがいいのかなども思う。
- ・小学生の教育と合わせて、一般の方々へのPRを少し考えてはどうか。

[学識者委員]

- ・占用許可を与えている地区に遊びに来る人は、なかなか自然に関心を持ってくれないが、イベントを合同で企画するなど、そういう人たちにも呼び掛けるのが1つのうまいやり方かなと思う。

[行政]

- ・あんまり対象を広げ過ぎたら、調整が難しい。
- ・公募方法も、例えば広報に載せるなど、そういうのも含めて検討する必要がある。

[学識者委員]

- ・呼び掛けは、余り最初から門戸を狭めるより、広く開いてやったほうがいいのかではないか。

[利用者代表]

- ・30人が議論がしやすいとのことだが、60人のワークショップでもやったことがある。調整が大変という話があったが、それは行政の役目と思ってやってもらわないといけない。
- ・中で積極的に動いてくれる人「やりたがり」を核に据えるということが非常に大事。その周りに堅い組織も含めた形にするというのが理想になる。
- ・池の里の市民交流センターを動かしているNPOがあり、その副会長は水辺クラブの会長でもあり、先の地区会議にも参加いただいた。
- ・そういう活動を通じて、自然に親しむだけではなく管理するところまで行こうという呼び掛けをきちっとすることが大事かもしれない。

[事務局]

- ・今日見ていただいたところは今の段階では公園ではないが、野草地区を川の中の活動基地として使うとか、太間・点野一帯での公園利用のような位置づけもある。
- ・会議は年内には1回やりたいというぐらいで、少し遅くなるかもしれませんが、一度やってみて、その結果を地域協議会にご説明し、ご審議いただきたいと思う。1回実施して完了するものではなく、何回か試行錯誤しながらになるかと思うので、引き続きよろしく願いしたい。

[利用者代表]

- ・点野野草地区の利用のあり方を足掛かりにして庭窪のワンドに同様な取り組みを持っていくなど、寝屋川市と守口市は近いので行政の呼び掛けも必要。

[学識者委員]

- ・「公園」と言うと差し障りが出るかもしれないということだが、「水辺」とか「川辺」とか、そういう言葉で表現しておくのと、みんなも取り組みやすい。

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 淀川河川事務所 河川公園課
〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番10号
TEL:072-843-2861(代) FAX:072-843-0910 E-mail: yodogawa-kouen@kkr.mlit.go.jp

当日配布した資料などは、下記 Web サイトにて、公表しています。詳細は、Web サイトを参照願います。



http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/activity/comit/park_kyougi/index.html

2013年10月発行

第6号

平成25年度

第1回 淀川河川公園 地域協議会 会議録

中流左岸域版(大阪府枚方市、寝屋川市及び守口市域)平成25年9月10日